



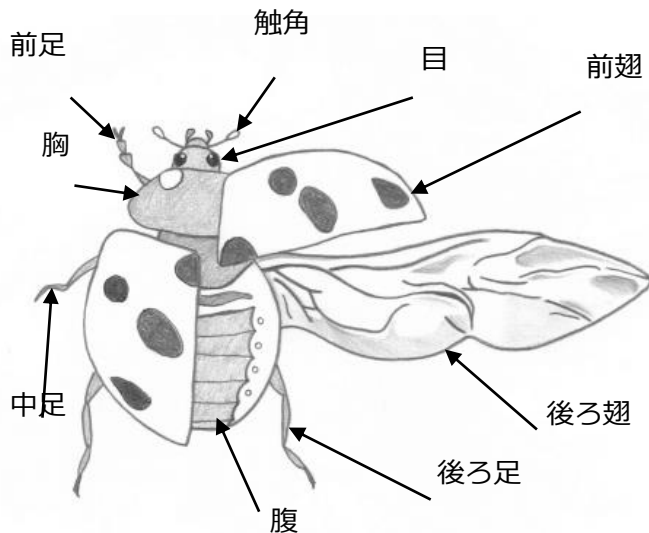


とねり自然図鑑



動物、昆虫や花などいろいろな自然の写真を「フォトクラブメビウス」の会員方にご協力いただき、毎月発行しております。写真にちなんだ「へえ〜」という情報もお楽しみに。

【撮影した岡田さんのつぶやき】かわいらしい小さな赤いテントウムシが、アザミの蕾によじ登っているのを見て、思わずシャッターを切りました。まるでアザミに宝石が実っているかのようでした。



名称：テントウムシ

学名：Coccinellidae

出現期：春～秋

分布：ほぼ全国

生息地：草原、野原など

主食：アブラムシ類、カイガラムシ類、
菌類

体長：5～9mm

生態：完全変態（卵－幼虫－蛹－成虫）

天敵：寄生バチ、寄生バエ

【飛ばないテントウムシで害虫駆除】 【死んだふりをする？】

○農業・食品産業技術総合研究機構の近畿中国四国農業研究センターが、品種改良により開発した「飛ばないテントウムシ」は、ビニールハウスなどの屋内農業の害虫アブラムシの駆除に使われています。飛行能力が低い個体ばかりを交配させる研究を開始し、およそ30世代にわたって交配と選抜を繰り返し、「飛ばないテントウムシ」の開発に成功し発に成功しました。2013年9月には生物農薬として登録され、茨城県のメーカー・アグリセクトが販売を始めました。化学農薬では、その農薬に耐性のある害虫が増えることになるので、生物農薬なら効き目がなくなる恐れもなく、環境や生産者の健康にも悪影響がないことが利点とされています。

○幼虫・成虫ともに強い刺激を受けると偽死（死んだふり）をします。それだけではなく関節部から体液（黄色の液体）を分泌します。この液体には強い異臭と苦みがあり、外敵を撃退します。体色の鮮やかさは異臭とまずさを警告する警戒色で、これによりテントウムシは身を守ることができ、鳥などはテントウムシをあまり捕食しません。

！ 舎人図書館にある参考資料の一部を紹介 ↓

！ 鈴木欣司・鈴木悦子 『昆虫好きの生態観察図鑑Ⅱ』 緑書房

！ 海野和男 『甲虫のカタチ観察図鑑』 草思社

！ 佐藤有恒 『科学のアルバム テントウムシ』 あかね書房

毎月集めて、舎人地域学習センター・図書館のオリジナル図鑑をつくろう！